

環境経営レポート 2023年度版

東海理化Smart Craft株式会社

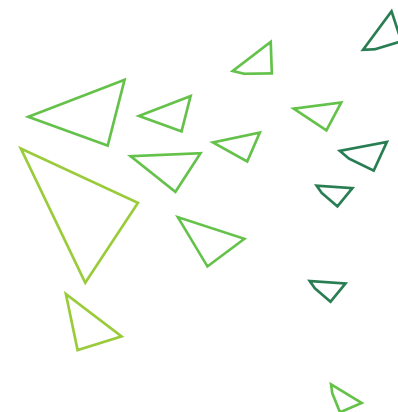
発行日 2024年5月10日

改訂日 2024年10月31日

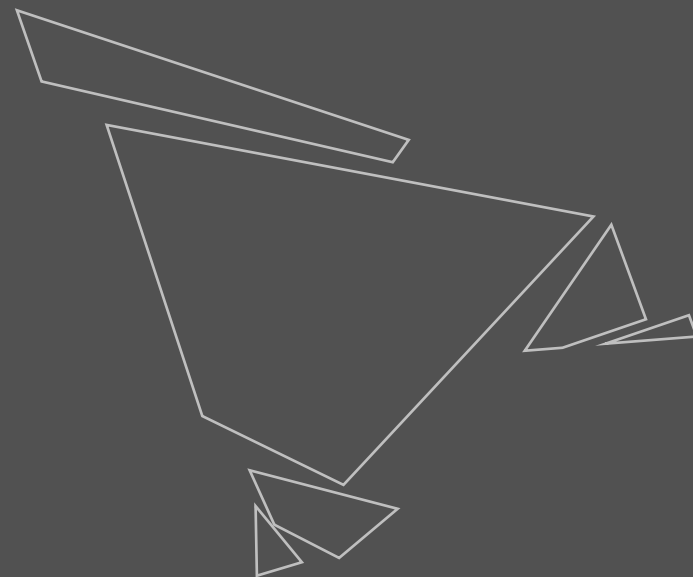
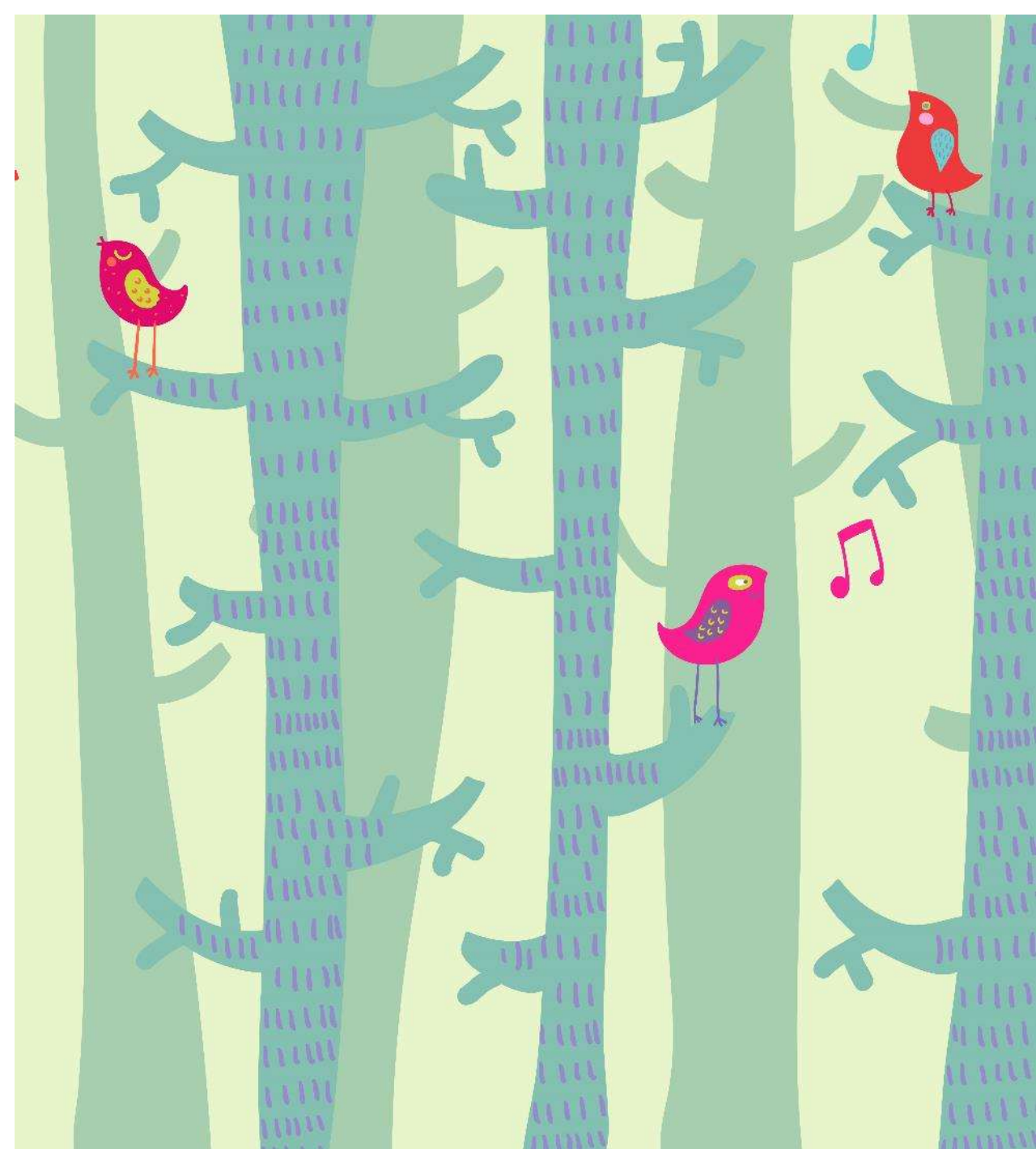
【期間：2023年4月1日～2024年3月31日】



目次



1.	会社概要	… 3
2.	環境経営方針	… 5
3.	環境管理実施体制	… 8
4.	環境経営目標	…11
5.	環境経営活動計画と評価	…16
6.	環境経営目標、実績及び評価	…18
7.	環境経営活動の取り組み事例	…21
8.	環境関連法規等の遵守状況と評価	…27
9.	次年度の環境経営目標と主な取り組み	…29
10.	代表者による全体評価と見直し・指示	…31



1. 会社概要

1. 会社概要

会社名	東海理化Smart Craft株式会社 (旧 理化精機株式会社)
代表取締役社長	直井 滋樹
環境管理責任者	都築 慎也
資本金	3,000万円
売上高	23億円 (2024年3月期)
従業員数	179名 (2024.3月)
事業活動	自動車部品、金型及び金型部品 設備、治工具及び それらの部品の製造、販売、測定

●対象範囲● 全組織・全活動



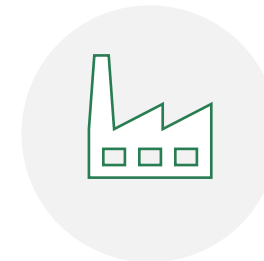
本社・大口工場

愛知県丹羽郡大口町豊田3丁目260番地
(株東海理化大口工場内)



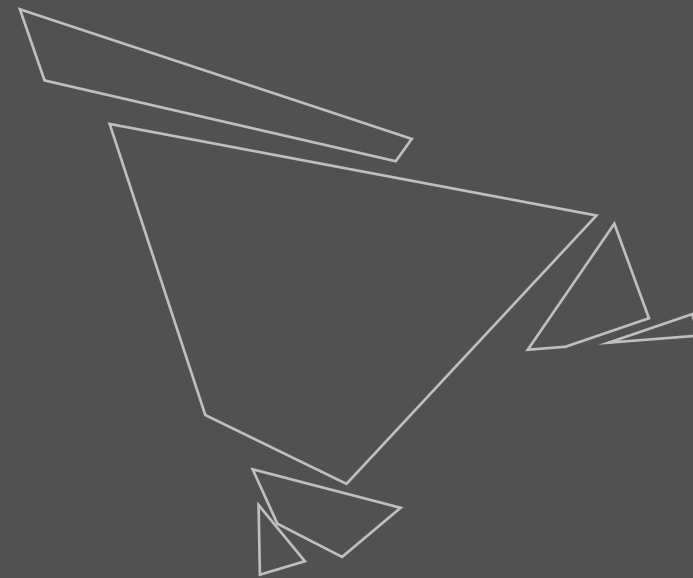
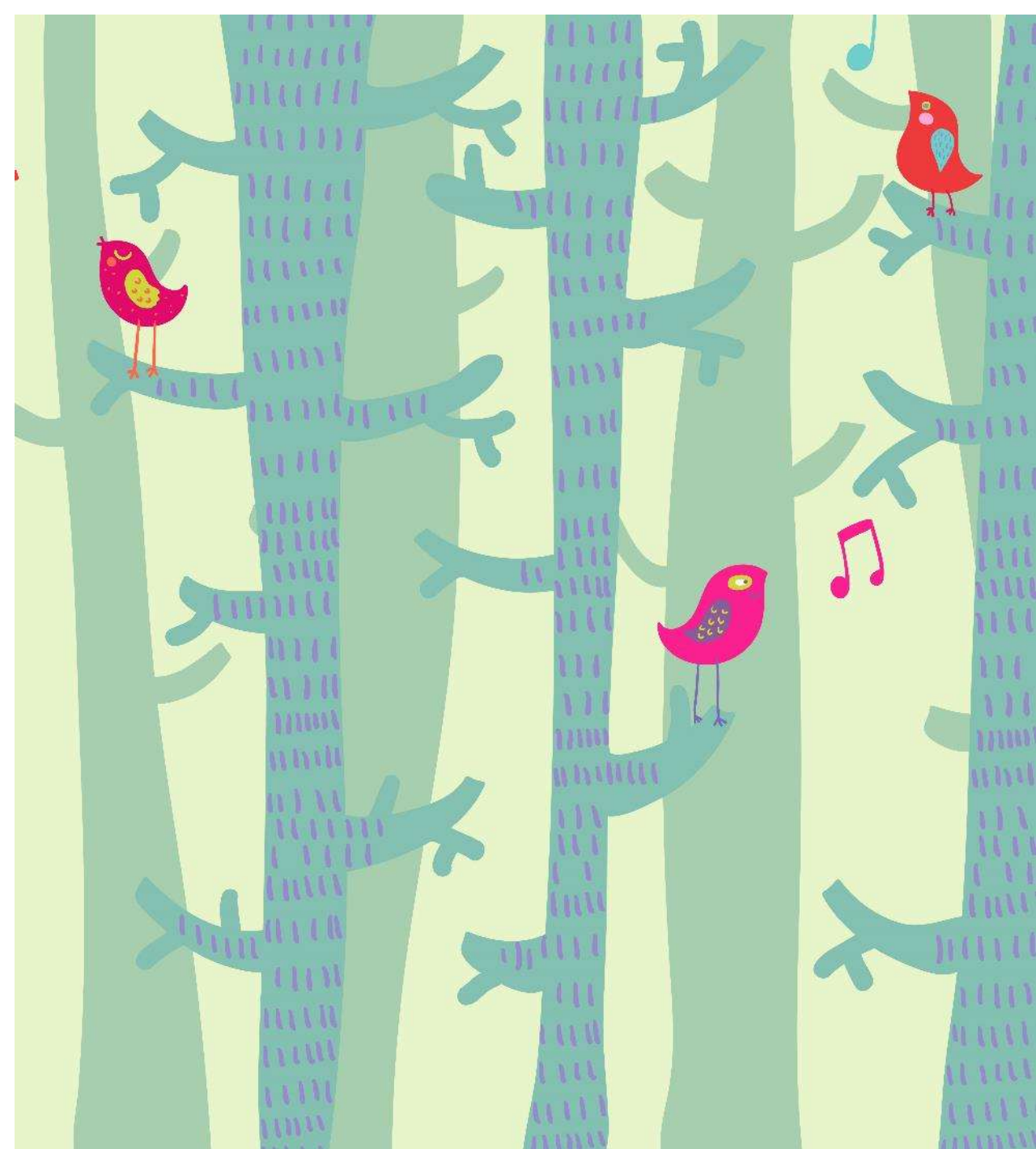
榎山工場

愛知県岡崎市榎山町字新居野53番地6



音羽工場

愛知県豊川市赤坂町平山1番地
(株東海理化音羽工場内)



2. 環境経営方針

2. 環境経営方針 (トピックス)



カーボンニュートラルの実現
生物多様性の保全



法令順守



環境マネジメント
システム構築



2. 環境経営方針（全文）

1. 経営理念、社員行動指針に基づき環境への取り組みを進めます。

■主な取組項目

（1）カーボンニュートラル実現に向けての活動

- ・地球温暖化防止 ……CO₂削減（再生可能エネルギーの活用含む）
- ・仕事と資材の効率化 ……省エネ化、省資源化
- ・リサイクル ……資源の循環
- ・廃棄物削減 ……省資源化
- ・グリーン調達 ……自然環境保護
- ・省エネ設備導入 ……消費電力の低減

（2）生物多様性

自然環境保護、地域社会貢献

2. 法・地域や顧客との約束を守り、さらに目標を定め、地球温暖化・環境汚染の未然防止を進めます。

……法令順守

3. 環境委員会を設置し、継続的な環境改善活動を展開します。

……環境マネジメントシステム構築

●経営理念より

社会の一員として、法と倫理を遵守し、自然・地域と共生する企業をめざす。

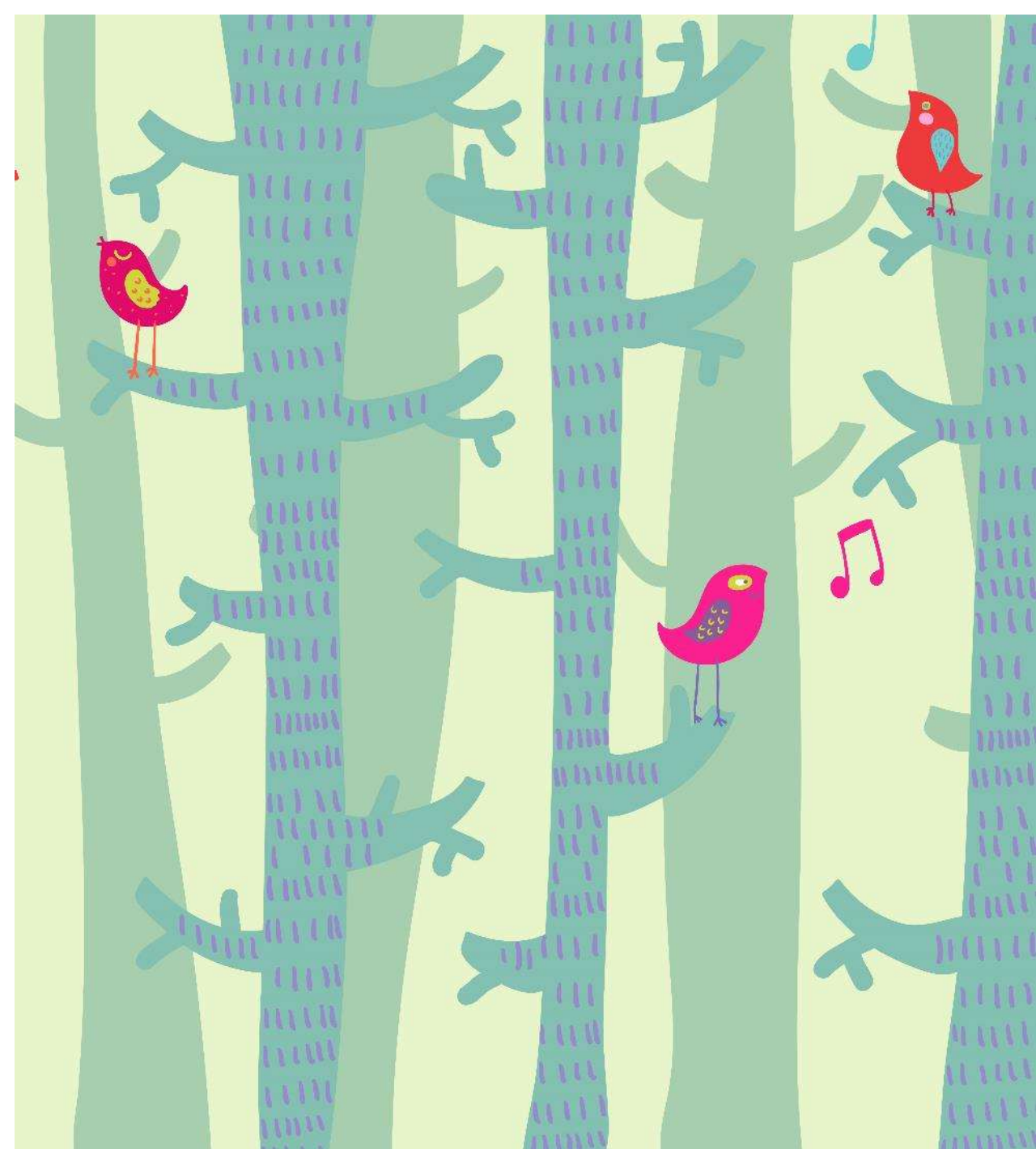
●社員行動指針より

自然環境の保護として、エネルギー・資源の有効利用および環境負荷の低減につとめます。

2024 年 3 月 1 日

東海理化Smart Craft株式会社
代表取締役社長





3. 環境管理実施体制

3. 環境管理実施体制 (2024年月3月)

事業内容

- 大口工場

設備、治工具及び部品の製造・販売
計測事業

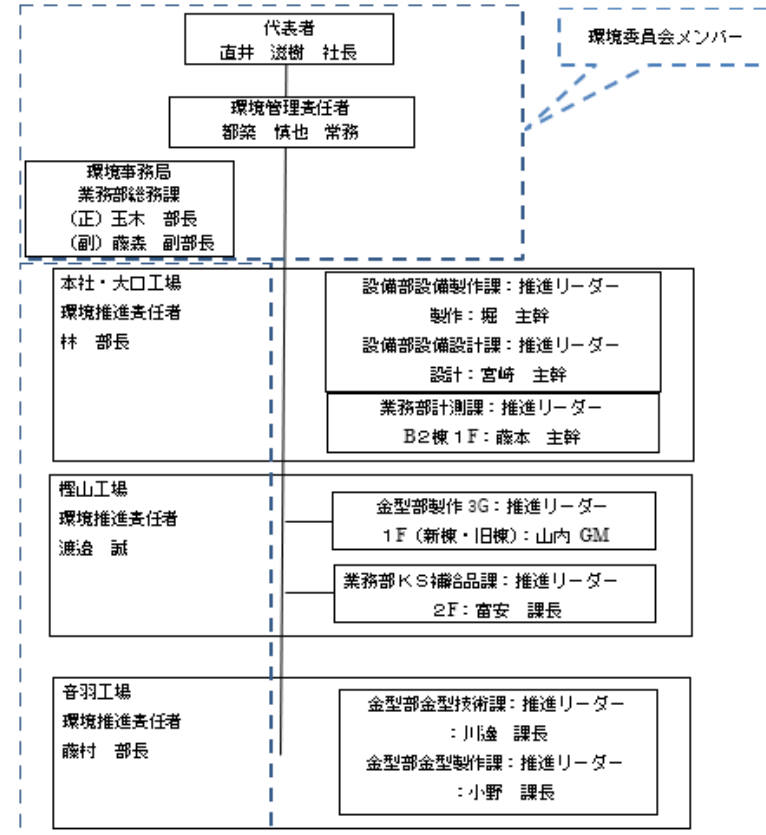
- 樫山工場

金型部品の製造
企画営業
計測事業
自動車部品(キーセット補給品)の製造

- 音羽工場

金型のSE提案、設計、製作、成形（試作）
部品測定（計測）

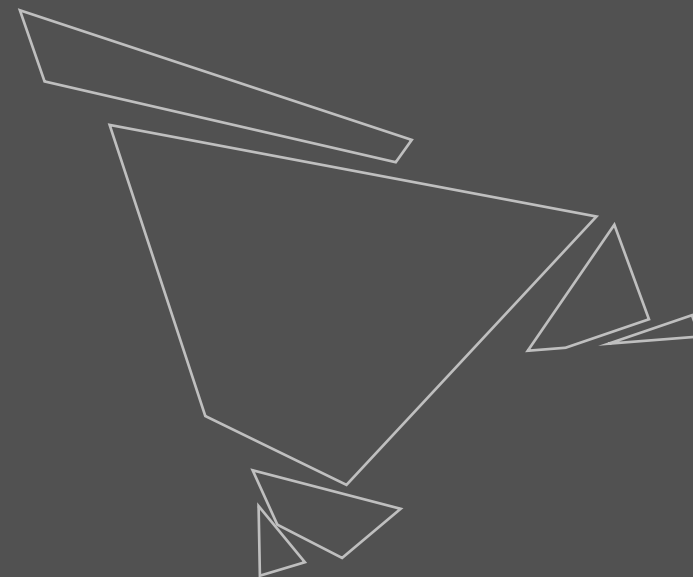
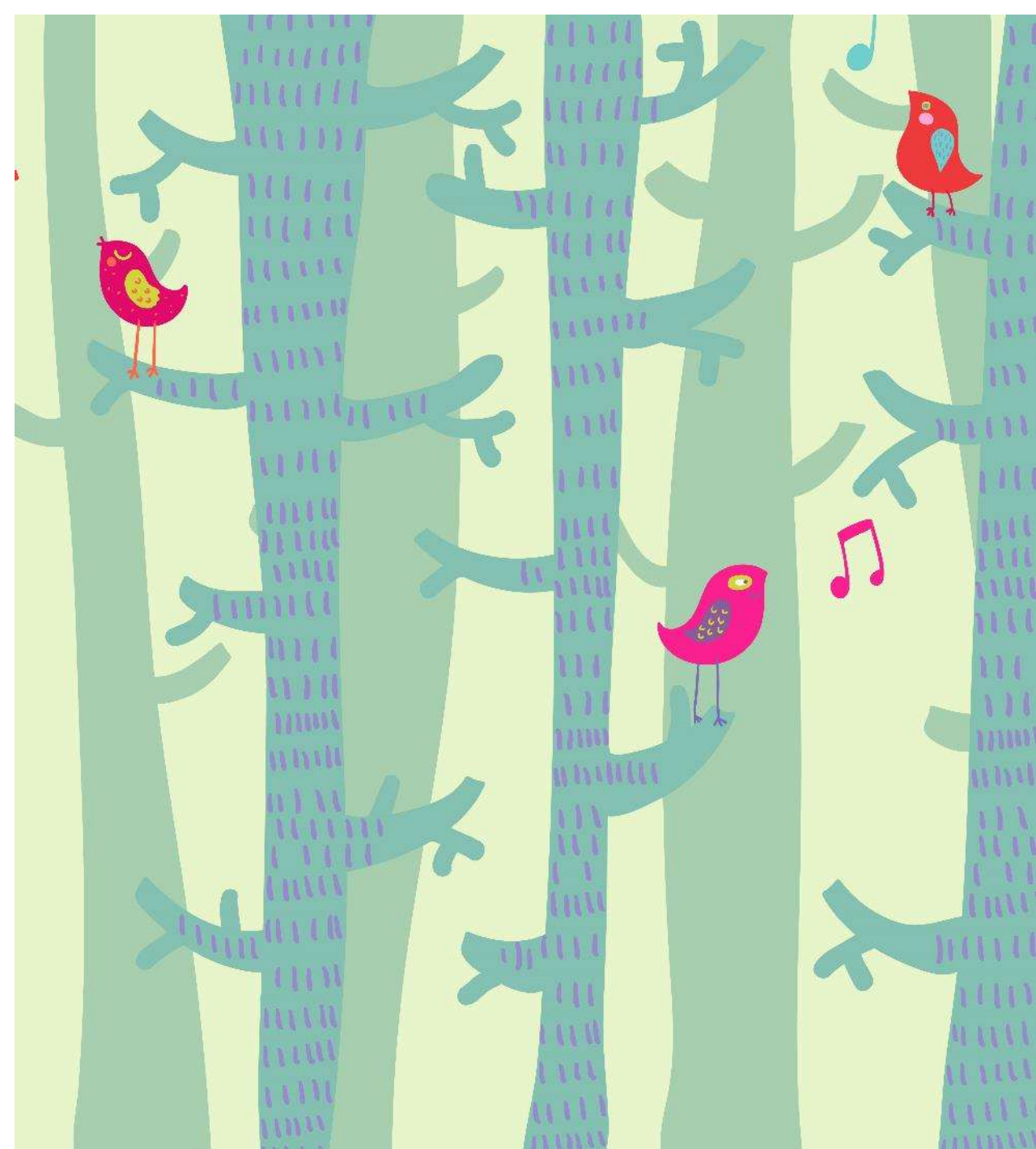
●組織表



●役割・責任・権限

担当	役割・責任・権限
代表者 (社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な設備、費用、時間、技能・技術者準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動（EMS）内部監査結果、是正処置等を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開 ・環境委員会の開催 ・上部環境活動展開事項への対応と社内展開

担当	役割・責任・権限
環境推進 責任者及び 推進リーダー	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成および運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・地域社会においても、環境意識を持って行動する
(代表者・各責任者) 環境委員会	・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境活動に関する意見交換



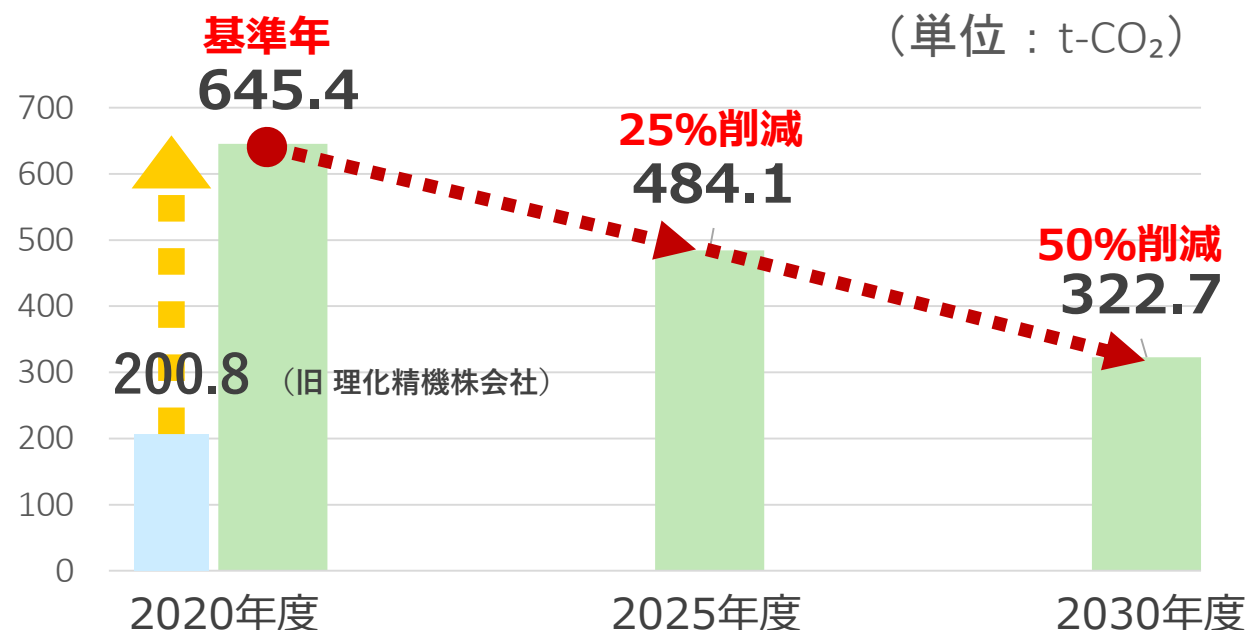
4. 環境経営目標

● 第7次環境取り組みプラン（2021～2025年）

持続可能な社会の実現に貢献するため「脱炭素社会の構築」「循環型社会の構築」「自然共生社会の構築」の3つの柱で取り組みを推進。第7次プランの最終年度である2025年度目標達成に向け、計画的に活動を推進しています。

当社は2022年7月に会社統合により新会社としてスタートいたしました。従来目標設定をしていた大口工場及び檜山工場に加え音羽工場が追加されたため、CO₂排出量削減目標を再設定いたしました。

【当社の電力消費量におけるCO₂排出量削減目標】



●環境経営目標（中長期目標設定）

項目	単位	対象	中長期目標
二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	電力総消費量低減 * 第7次環境取組プラン	kWh	全社
	化石燃料消費量 (ガソリン・軽油・灯油)	ℓ	全社
	LPG	m ³	榎山
廃棄物排出量 (t-CO ₂)	金属 樹脂・ビニール類 木 油など	kg	全社
水使用量	-	m ³	榎山

「自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善」については別紙に示す

「自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善」

	カテゴリー	商品・サービス	目標
①	省エネ	省エネ型付帯設備	取組の推進
②	品質改善・省エネ	省エネ型金型	取組の推進
④	循環経済	消臭グッズ他	取組の推進
⑤	循環経済	アップサイクル品の開発	取組の推進
⑥	環境保全	活動参加	年1回



●環境経営目標（2023年度）

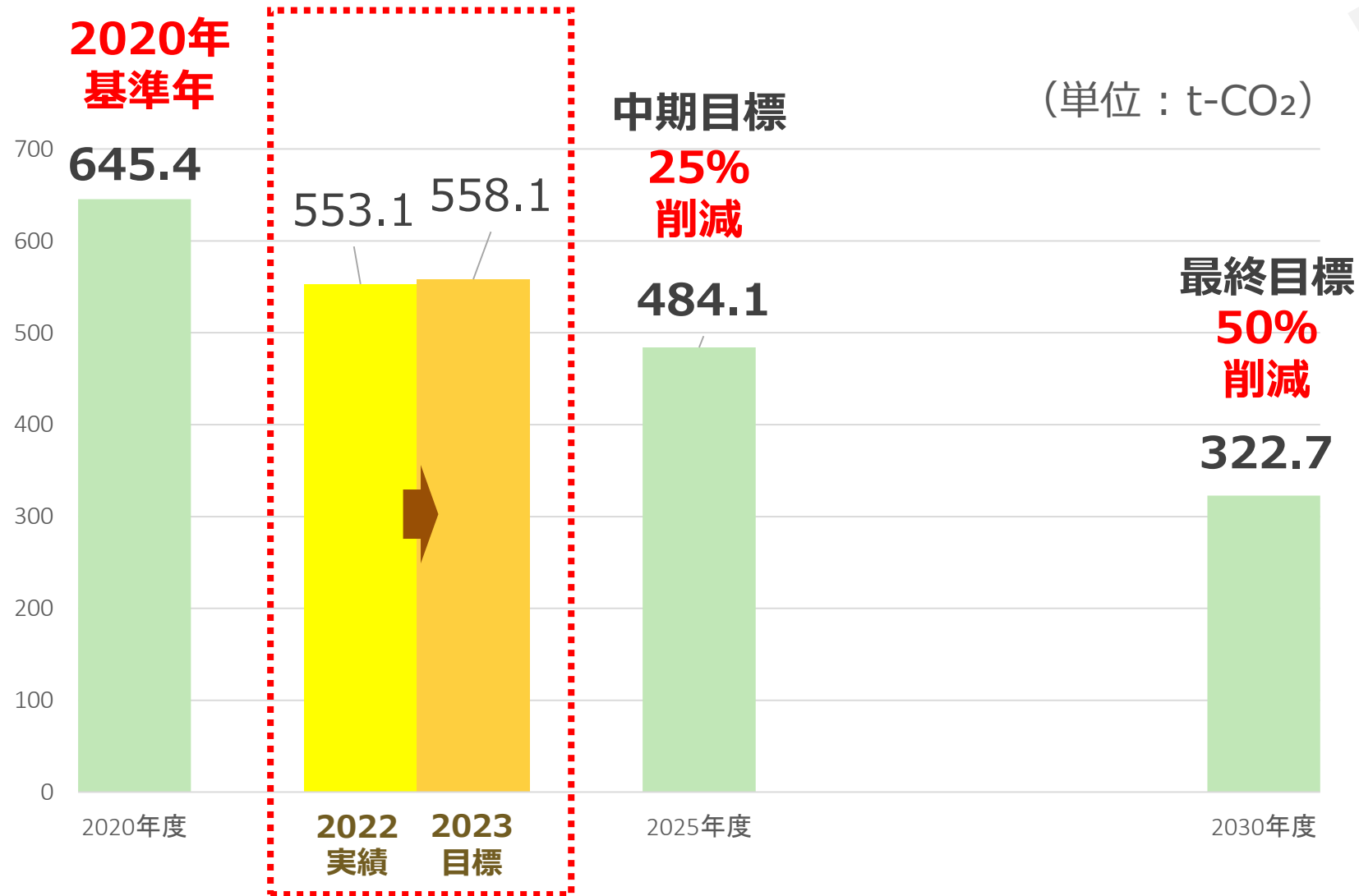
2022年7月の会社統合により2023年度は各項目の目標を再設定しました。

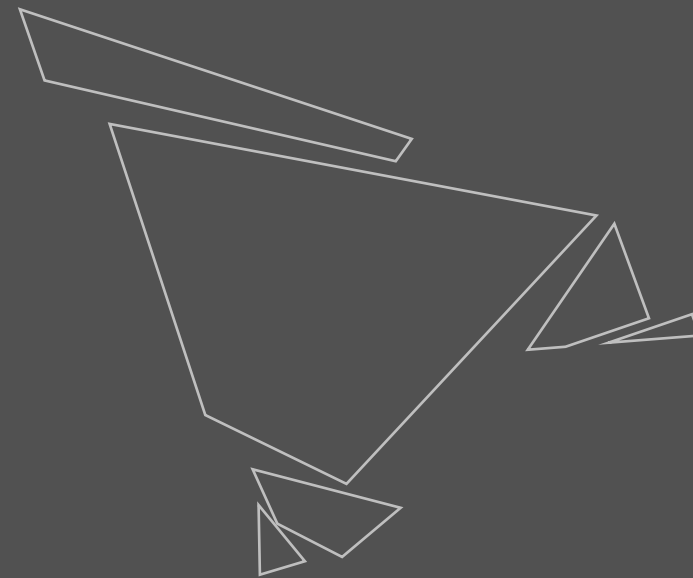
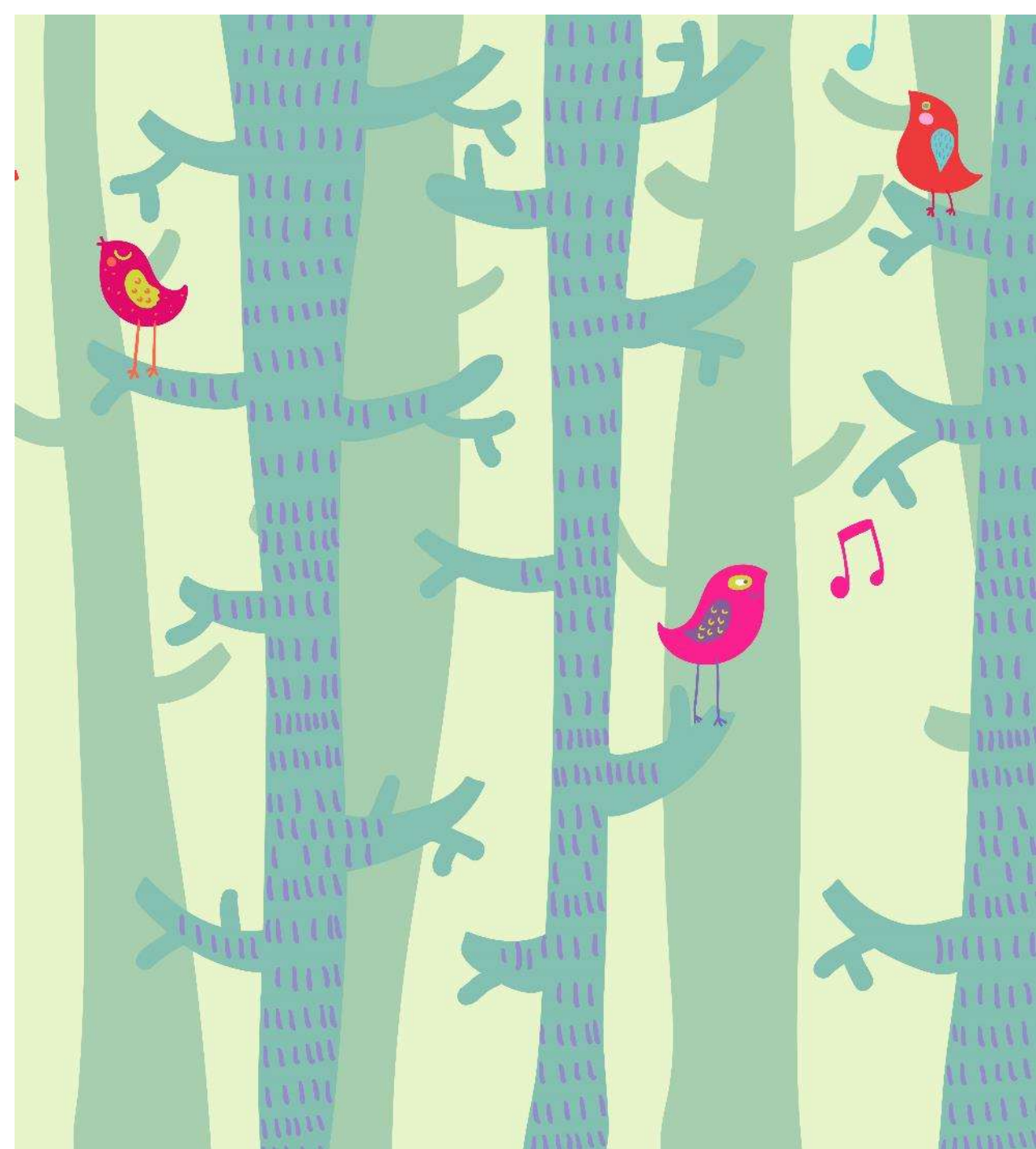
項 目	基準年及び実績	2022年度 実績	2023年度 目標
電力消費量 総量 (kWh) 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算	2020年度基準 * 1 1,506,416 645.4	1,416,698 553.1	* 2 1,401,796 558.1
ガソリン使用量 総量 (リットル) : 係数 × 0.002320 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算	2022年度 24,447 56.7	24,447 56.7	* 2 24,203 56.1
LPG 総量 (m ³) : 係数 × 0.003000 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算	2022年度 16.7 0.05	16.7 0.05	16.5 0.05
産廃焼却処理 総量 (kg) : 係数 × 0.00290 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算 (焼却処理)	2022年度 10,826 31.3	10,826 31.3	* 2 10,718 31.1
温室効果ガス排出量 (t-CO₂) 総量CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) 電力 + ガソリン + LPG + 産廃焼却 = 合計t-CO ₂	733.5	641.2	645.4
水使用量 総量 (m ³) : 投入 (上水)	2022年度 322	322	319

* 1 2019年度実績 1,523,593kwhを基に2020年度を基準とする

* 2 音羽工場の追加分を加味して再設定した

●電力消費量の2023年度目標の設定





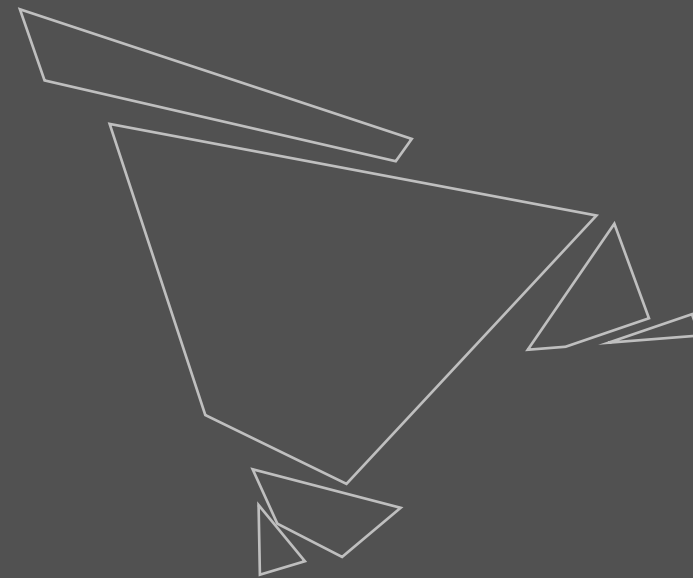
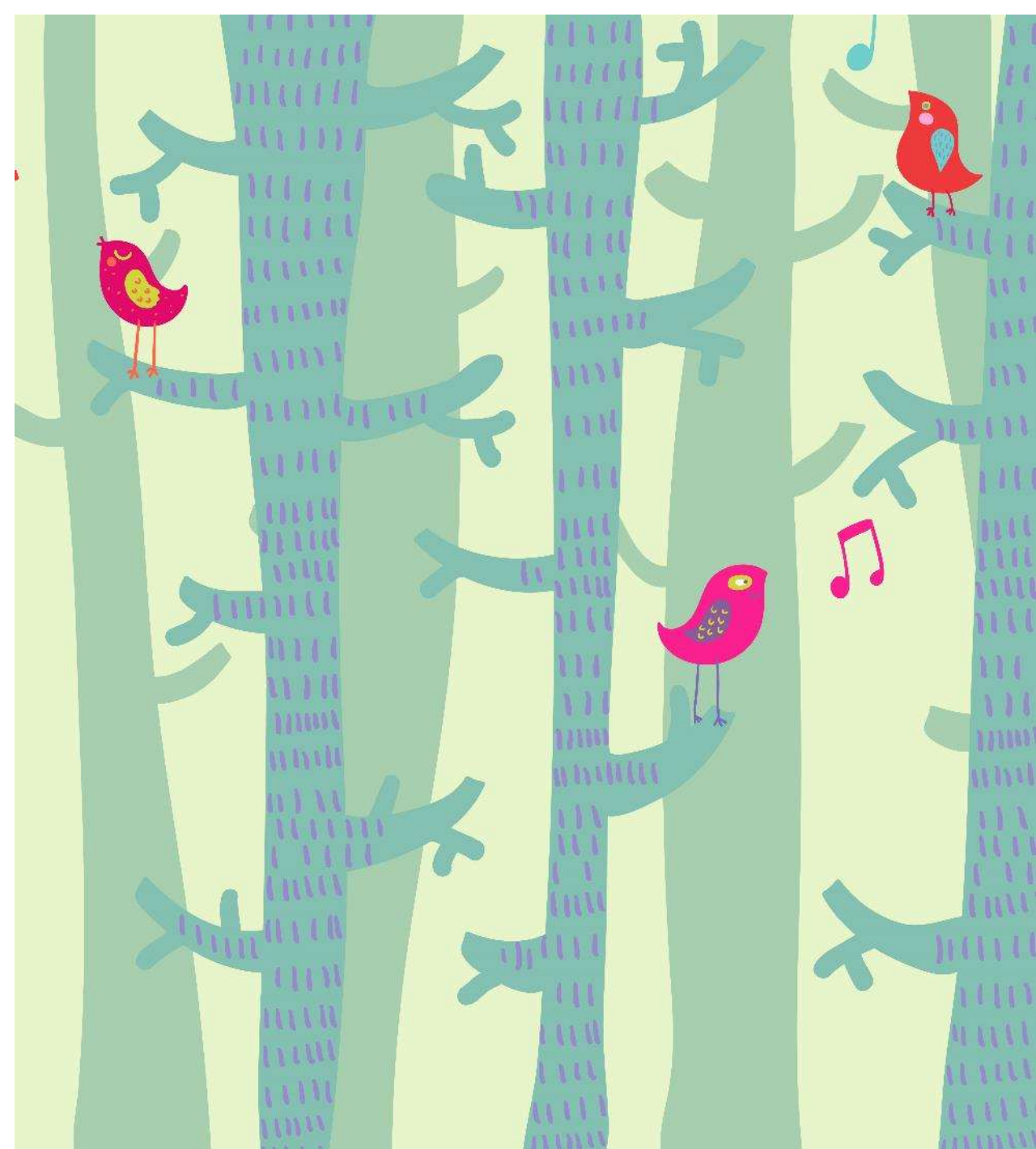
5. 環境経営活動計画と評価

5. 環境経営計画と評価

2023.2.21作成					
2024.3.29評価					
* 2023年度(2023.4月～2024.3月)					
項目	取組項目	具体的活動事項(手段)	日程	評価	対象
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減	・不要な照明や離席時の消灯徹底 ・PCディスプレイの省エネモード設定 ・空調設備の点検、清掃(日常点検) ・クールビズ、ウォームビズの実施 ・空調(エアコン)運転管理の徹底(室温管理)	年間 ↑ 夏期:7月～9月 冬期:12月～3月 ↑	○ ○ ○ ○ ○	全社 ↑ ↑ ↑ ↑
	ガソリン使用量の削減	・エコドライブの啓蒙と実践 ・車出張の効率化 ・社有車:更新時にハイブリッド車に変更	年間 年間 更新時	○ ○ ○	全社員 ↑ 総務課
	その他化石燃料の削減	・再生可能エネルギーの活用(太陽光パネル)	更新時	○	樫山工場
	グリーン購入推進	・再生エネルギー比率の高い電気購入 ・コピー紙、事務用品など再生品の購入	年度内都度 年間	○ ○	樫山工場 全社
	一般廃棄物の削減	・コピー用紙削減(両面コピー、裏面利用) ・使用済み封筒の再利用 ・紙類の再資源化(回収再生業者渡し) ・業務のシステム化による紙書類の削減	年間 ↑ ↑ ↑ ↑	○ ○ ○ ○ ○	全社 ↑ ↑ ↑ ↑
廃棄物の排出量削減と適正管理	産業廃棄物の削減	・加工材料(金属、樹脂、油など)端材活用 ・部材購入と在庫管理の見える化 ・産業廃棄物の分別徹底 ・不良品の低減	年間 ↑ ↑ ↑ ↑	○ ○ ○ ○ △	全社 ↑ ↑ ↑ ↑
	資源の再利用				
	廃棄物の適正管理	・マニフェスト発行と契約書類の管理 ・廃棄物処理委託業者の法的点検	年間 年1回	○ ○	全社 ↑

項目	取組項目	具体的活動事項(手段)	日程	評価	対象
その他	「環境月間活動」 環境教育・環境意識啓蒙	・環境ポスターの掲示、環境マガジン配信 ・環境ムービー視聴、環境検定応募展開 ・環境KYT	6月 ↑ ↑	○ ○ ○	全社 ↑ ↑
	生物多様性取組	・里山保全活動へ参画 ・工場周辺ごみ拾い活動へ参画 ・外来種駆除活動への参画	3～12月 4～9月 都度	○ ○ ○	樫山工場 大口・音羽工場 大口工場
	フロン排出抑制法への対応	・簡易点検、定期点検の実施と記録	年間 (1回/3ヶ月)	○	全社
	水使用量の削減	・手洗い場、トイレ等の節水活動	年間	○	全社
	環境関連法の順守	・環境活動推進計画書に基づく実施	年間	○	全社

評価判定基準	評価	基準
	○	おおむね実施できた
	△	取り組んだが、十分な実施と成らなかった
	×	実施できなかった

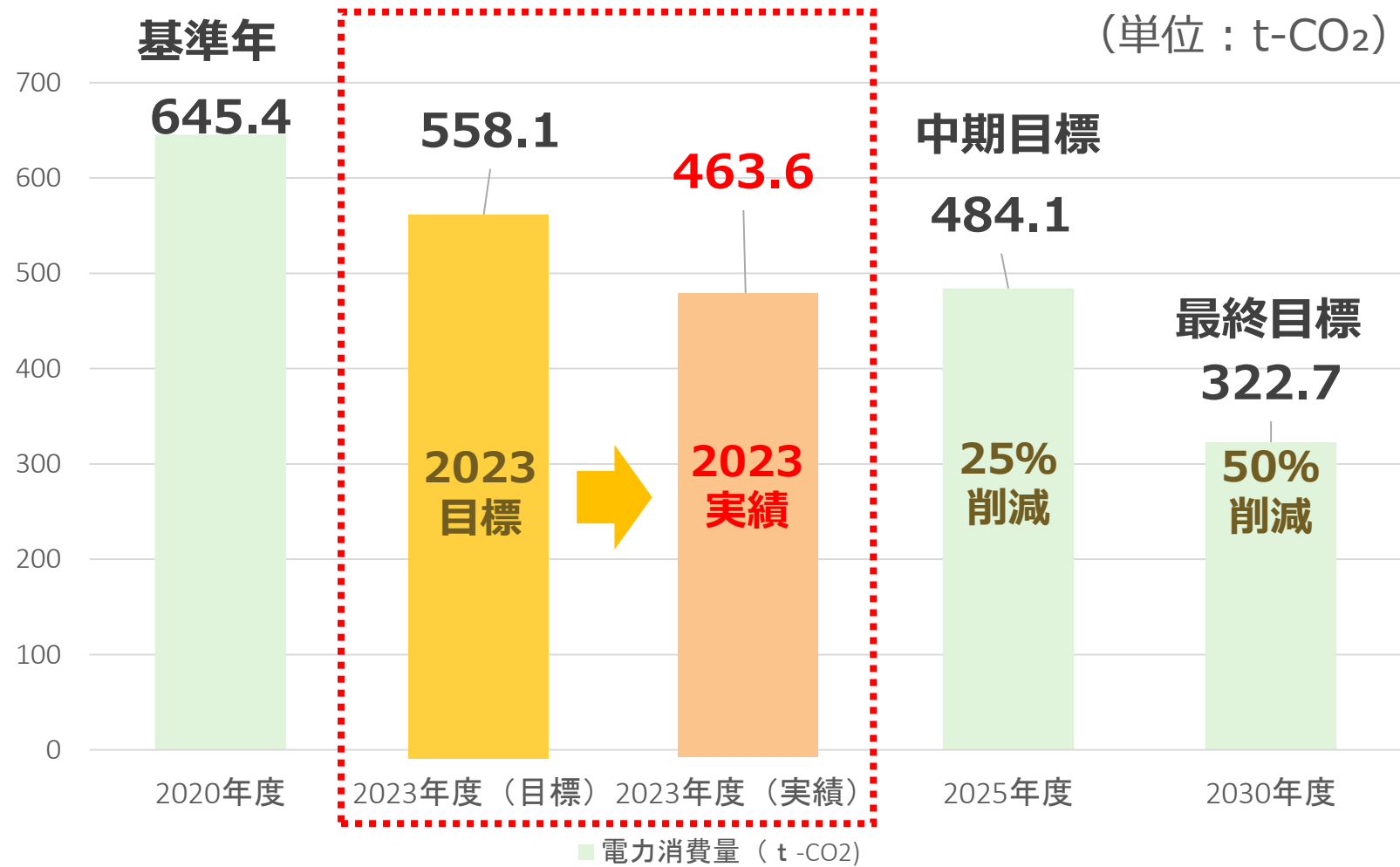


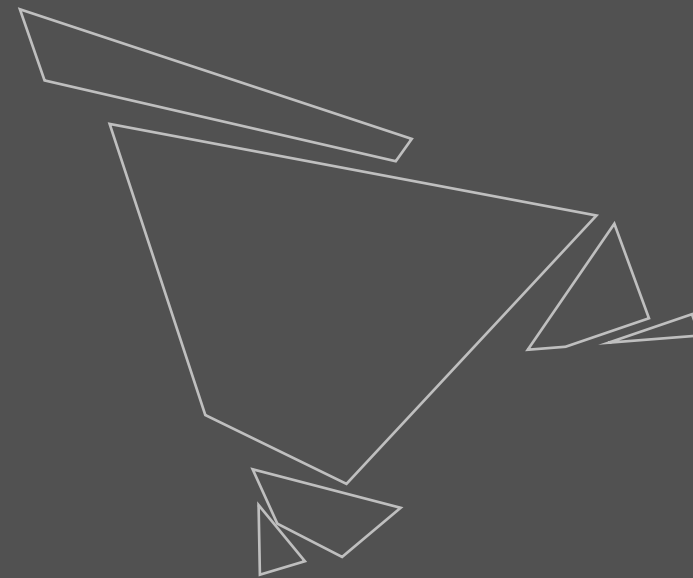
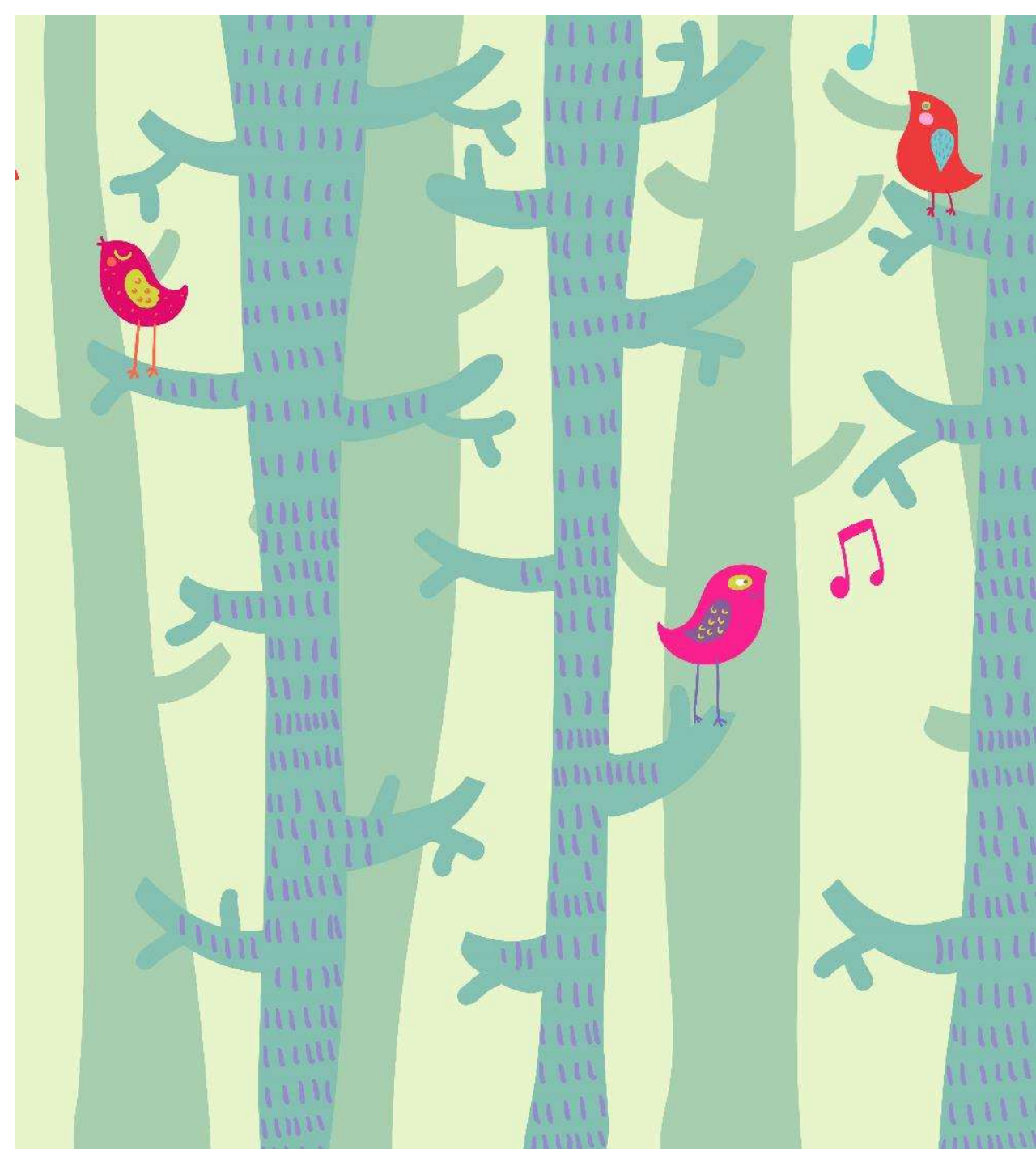
6. 環境経営目標、実績及び評価

6. 環境経営目標、実績及び評価

項 目	2023年度 目標	2023年度 実績	評価
電力消費量 総量 (kWh) 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算 大口・音羽 CO ₂ 排出係数 … 0.000388 t-CO ₂ /kwh (2023年) 樫山 CO ₂ 排出係数 … 0.000399 t-CO ₂ /kwh (2023年)	1,401,796 558.1	1,187,128 463.6	○
ガソリン使用量 総量 (リットル) : 係数 × 0.002320 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算	24,203 56.1	20,137 46.7	○
LPG 総量 (m ³) : 係数 × 0.003000 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算	16.5 0.05	5 0.015	○
産廃焼却処理 総量 (kg) : 係数 × 0.00290 総量 (t-CO ₂) …CO ₂ 排出量換算 (焼却処理)	10,718 31.1	8,958 25.9	○
温室効果ガス排出量 (t-CO₂) 総量CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) 電力+ガソリン+LPG+産廃焼却=合計t-CO₂	645.4	536.2	—
水使用量 総量 (m ³) : 投入 (上水)	319	235	○

電力消費量の今年度の目標と実績





7. 環境活動の取り組み事例

7.環境経営活動状況（取り組み事例 1）



空調運転ガイドラインにもとづく省エネ室温管理

	期間	設定温度
暖房	12/1～3/31	20℃±2℃
冷房	6/1～9/30	28℃±2℃



7.環境経営活動状況（取り組み事例 2）



最大需要電力（ピーク）を抑制し、契約電力をコントロール

電力消費のデマンド監視による空調設備の一時停止（樫山）

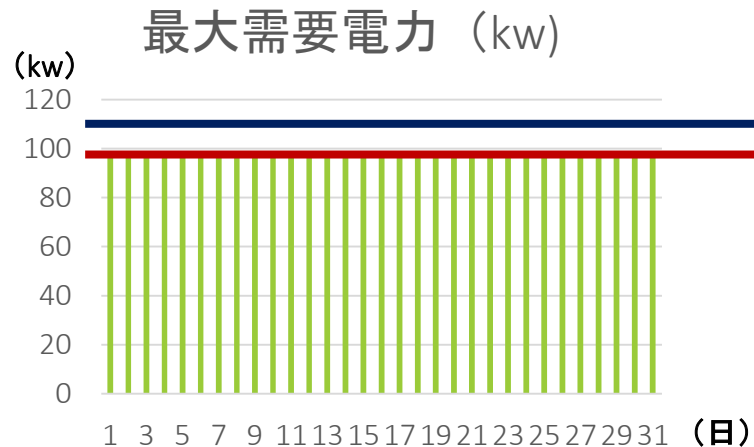
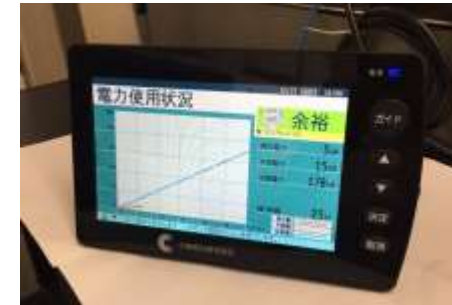
目標の電力

102 k w

警報鳴動の最大需要電力 97 k w（設定値）

差分（削減効果）

5 k w（警報がでたら空調設備を一時停止）



時間帯（8：30～10：30）に警報の鳴動が多発

7. 環境経営活動状況（取り組み事例3）



紙資源の使用削減

仕事の仕方を工夫 → 紙を減らして、コピー用紙購入枚数削減

コピー用紙購入枚数（全社・前年同期比） **57%削減**

（単位：枚）

期間	大口工場	樫山工場	音羽工場	全社合計
2022年度	75,231	44,854	41,623	161,709
2023年度	20,341	17,140	32,170	69,651
差	-54,890	-27,715	-9,454	-92,058
対前年同期比	27%	38%	77%	43%



7. 環境経営活動状況（取り組み事例4）



【緊急事態 対応訓練（油の漏洩）】

想定：廃油ドラム缶運搬転倒による油流出時の緊急処置



①ドラム缶運搬

②オイルフェンス設置



④油の流出処置
（土嚢設置）



③オイル吸着材
＋
中和剤処置



7. 環境経営活動状況（取り組み事例6）



【生物多様性保全】

5月



場所：木津用水の川べり（大口町）



* 大口町役場及び近隣企業と共同で実施

特定外来種生物の駆除
（オオキンケイギク）

11月

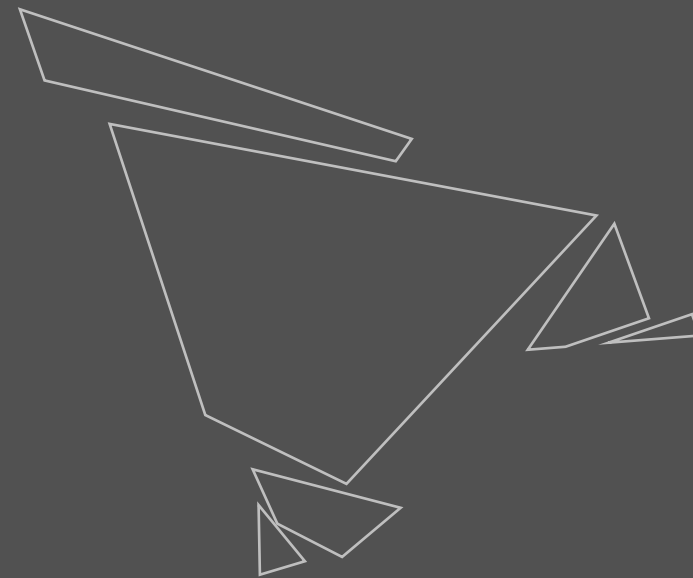
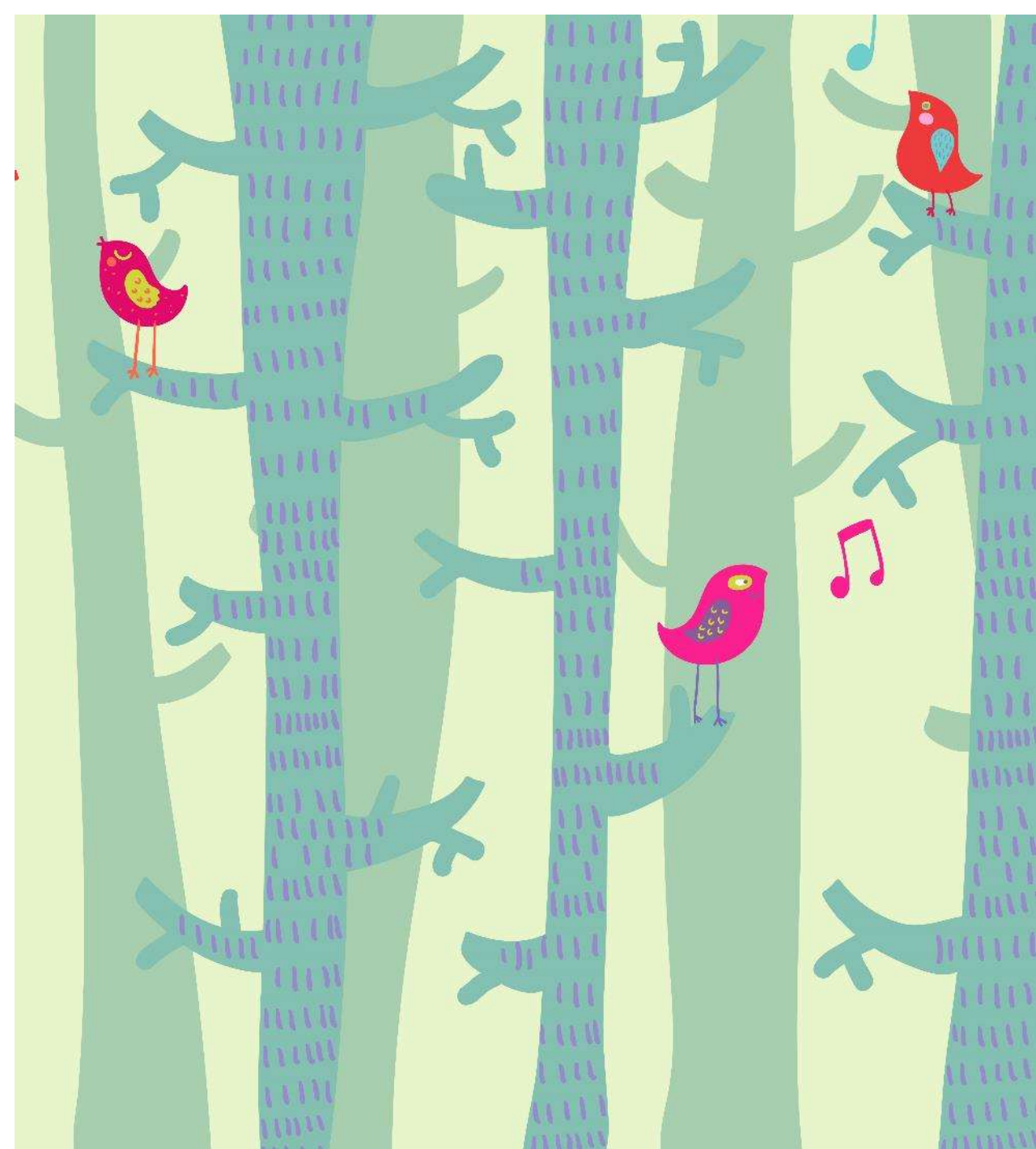


場所：おおだの森（岡崎市榎山町）



* 岡崎市役所及び「山留舞会」と共同で実施

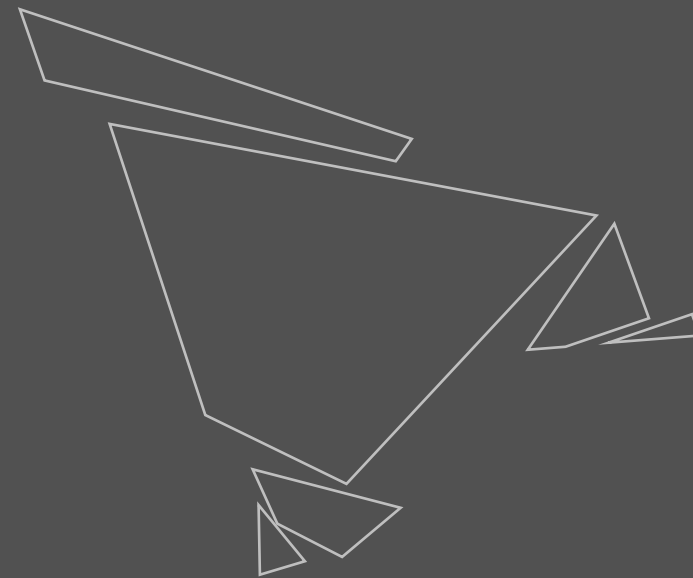
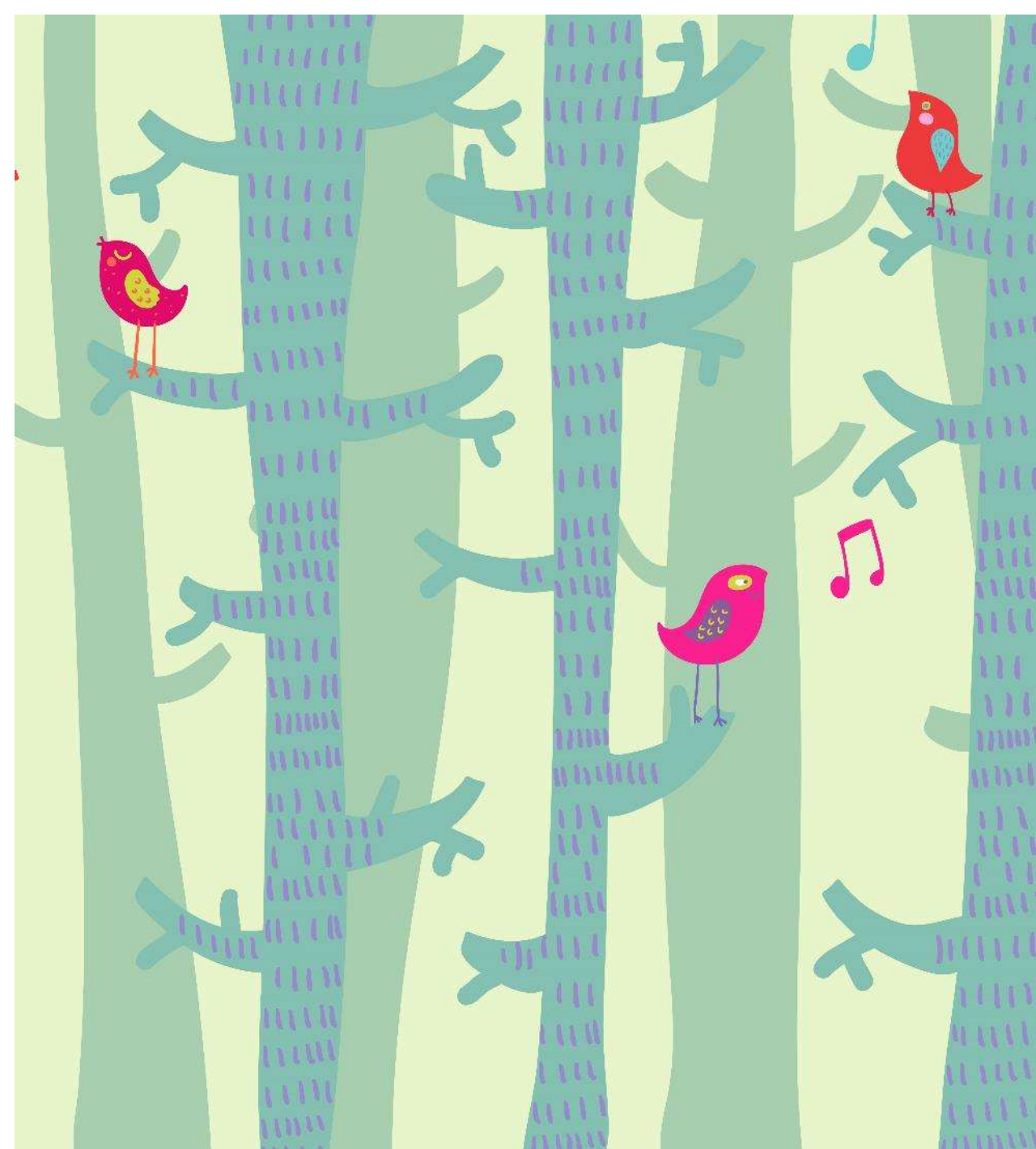
おおだの森 里山保全（桜の木まわりの下草刈り）



8. 環境関連法規等の遵守状況と評価

8. 環境関連法規等の遵守状況と評価

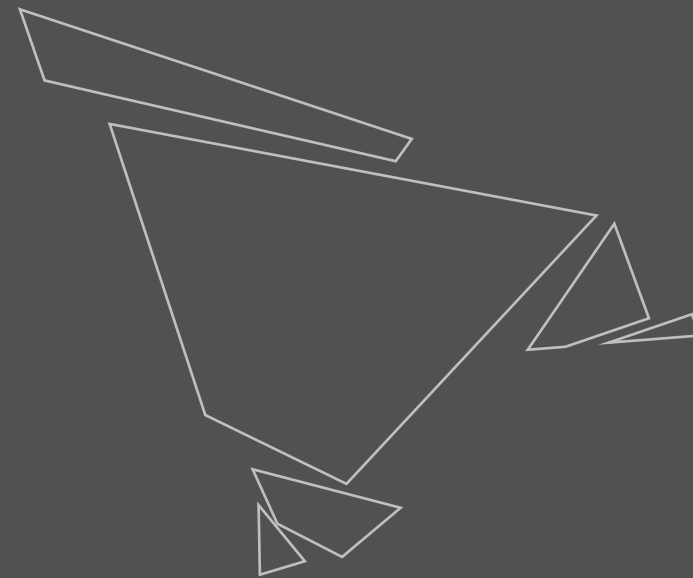
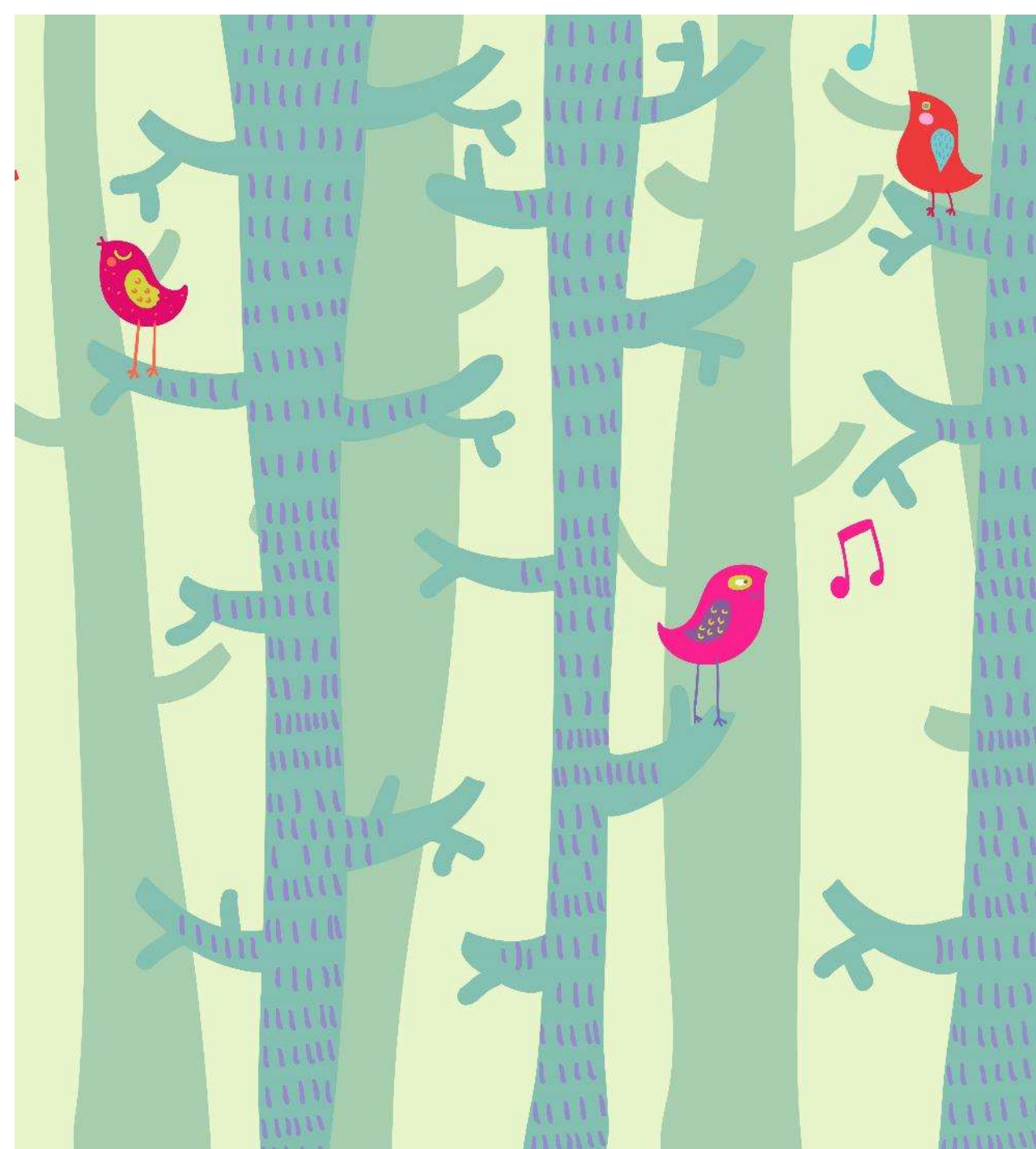
法令の名称	要求事項	評価
環境基本法	事業活動に伴う環境への負荷低減、その他の環境の保全に自ら努めるとともに、国または地方が実施する環境保全に関する施策への協力	○
廃棄物処理法	産業廃棄物及び一般廃棄物の適正処理 収集・運搬・処理委託業者との契約締結 マニフェスト交付状況の報告	○
水質汚濁防止法	有害物質、油等の流出事故時の届出と必要な処置 (公共用水域・下水道流出・地下浸透時)	○
騒音規制法 振動規制法	規制基準の遵守(施設境界線:測定管理) 騒音・振動、特定施設導入前の届出	○
消防法	指定可燃物及び、危険物の指定数量管理と届出 (榎山工場:油類、少量危険物取扱所届出・認可)	○
電気事業法	法対象設備の管理及び規定に基づく届出 (榎山工場:受変電設備対象)	○
フロン排出抑制法	修理・廃棄時の登録業者委託、引き取り証明書の保管と記録 対象機器の点検	○
その他 ・労働安全衛生法	化学物質等の有害性等の調査及び、健康障害防止処置 (リスクアセスメント実行)	○
＊ 遵守状況について ・現在、自社の遵守状況評価で問題が無いことを確認 ・違反、訴訟も無し		



9. 次年度の環境経営目標と主な取り組み

9. 次年度の環境経営目標と主な取り組み

目標	取組項目
電力消費量 総量 1,297,923 (kWh) 総量 529.4 (t-CO ₂)	・継続的な省エネ取り組みの推進（コンプレッサーエア-の低圧化） ・電力使用量の社内情報共有（全社） ・太陽光発電量の社内情報共有（檜山） ・再生可能エネルギーの利用（檜山） ・エネルギーや資源の使用効率を向上させるための生産性向上策の推進
ガソリン使用量 総量 23,958 (リットル) 総量 55.6 (t-CO ₂) 係数 × 0.002320	・全社員にエコ運転の意識を広めるための啓蒙活動 ・社有車のさらなる燃費改善と低燃費車（EV）への移行
LPG 総量 16.3 (m ³) 総量 0.05 (t-CO ₂) 係数 × 0.003000	・給湯器の湯を出し放しにしない。
産廃焼却処理 総量 10,611 (kg) 総量 30.7 (t-CO ₂) 係数 × 0.00290	・廃棄物の削減と効果的な分別の徹底 ・ものづくり活動の効率化を推進 ・廃棄物のリサイクルおよびリユースの拡大
水使用量 総量 316 (m ³) : 投入（上水）	・トイレ、手洗いなどの節水活動



10. 代表者による全体評価と見直し・指示

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

件名 エコアクション21「代表者による全体評価と見直し・指示」の説明会
日時 2024年5月10日(金) 14時～15時
参加者 直井社長、都築専務、玉木部長、浜崎GM、武田

件名の議題を説明し、以下の見直し・指示がありました。
資料：「2023年度：環境法規一覧と2022の法規順守評価.xlsx」を使用

【全体評価】 経営環境目標及び経営環境計画

【カーボンニュートラルの実現】

電気使用量：目標 558.1 t-CO₂ /年 → 実績 463.6 t-CO₂ /年 評価 ◎

【実施体制】

音羽工場がエコアクション21対象工場となる → 環境活動 内部監査を実施（年1回）

【見直し・指示】 環境経営方針

【カーボンニュートラルの実現】

2050年カーボンニュートラルゼロの実現に向けて再生エネルギー利用を促進
2030年50%減（322.7t-CO₂/年）に向けてCO₂排出量の削減を実施

【法令遵守】

化学物質管理体制の整備（労働安全衛生法の改正'24年4月～）
化学物質管理者などの設置、該当物質の見直しを実施

【見直し・指示】 実施体制

【組織変更】

環境組織体制の変更は無し

【総括】

引き続き、環境目標（第7次環境取組みプラン）に取り組む

【承認】 2024年5月10日

東海理化Smart Craft株式会社 代表取締役社長

直井滋樹

Copyright© TOKAI RIKAI Smart Craft co., Ltd. All rights reserved.